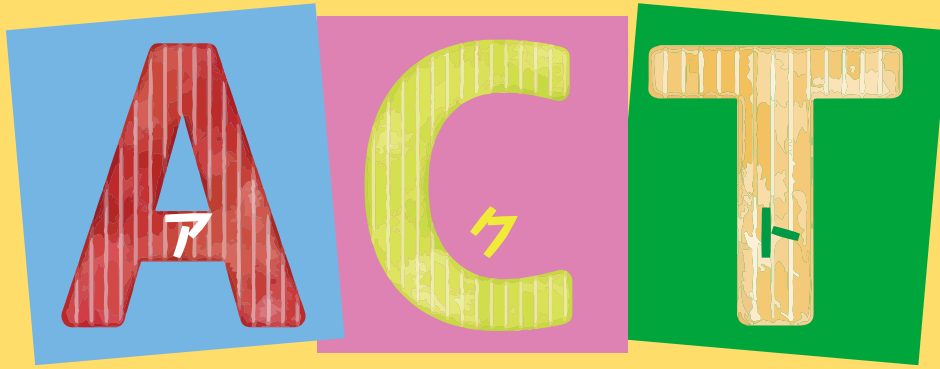




通信

会員数 5,369人 共済契約数 1,615 件 ACTつながるケア時間数・金額 2,415時間 6,088,775円 (2月末)

P2

院内集会 2022

「国会に届けよう 在宅介護を後退させない!!」

P3

みんなのアビリティ共済!「お茶会をしませんか?」

教えて! 介護のコツ「車いすを使った移動」

P6

理事会だより

「ACT通信と一緒に、ACT会員証をお届けします!」

理事紹介

P7

つくろよ 私のまちの地域ACT

世田谷ACT「ゆるやかに、楽しくつながっています!」

社会保障を考える「社会保障と経済成長」

P8

子育て支援フォーラムに参加して

3人でGo!!



あやとりのデイサービスで教育実習の学生さんが風船芸を披露。
笑顔あふれる利用者の皆さん

特集 P4-5 たすけあいワーカーズあやとり25周年

夢は介護と育児が 一緒にできる場所

院内集会 2022 国会に届けよう

在宅介護を後退させない!!

》》 3月24日(木) 衆議院第二議員会館

さる3月24日(木)、衆議院第二議員会館第1会議室に、介護の崩壊をさせない実行委員会のメンバー、各所属団体メンバー、国会議員とその秘書、新聞社など総勢62名が集まり、対する厚生労働省各担当者8名で2時間余りにわたる院内集会を開催し、国に対し要望書を提出しました。

各団体の代表8名が登壇し、7項目の要望に関し回答を受けました。

小規模事業所の厳しい現状と、加算中心の報酬に対する小規模事業所での様々な条件をクリアする事の難しさと、基本報酬そのものの引き上げを要望した場面では、国会議員の方々から大きな拍手が起こり、会場に一体感が生まれました。厚生労働省の担当職員の方々に、現場の厳しさを伝えることができたと思います。

毎回参加するたびに感じるのは、特に小規模事業所の現場で働く我々と厚生労働省とでは、あまりにも感覚の乖離があり、現場の声がほとんど反映されておらず、かけ離れたところで政策や制度改定が決まっているということです。厚生労働省では、さまざまな制度改定に対しアンケート調査を実施し、精査して政策に活かしていると主張しますが、社会保障審議会においても、最も事業者数が多い小規模事業所の現状を正確に捉えているとは言い難い状況です。厚生労働省も、財務省や大規模事業所、経団連、さらには全世代型社会保障検討会議が出してくる要望に答えなければならず、利用者本位でもなく、小規模事業者の実情を踏まえることもない改定を進め、いかに社会保障



コロナ禍の中、おおぜいの人が集まり、会場の参加者からも活発に発言がありました

費を抑えていくかを真っ先に考えているように見えます。

我々小規模事業所が生き残るには本当に厳しい時代と言えます。

地域とつながり、在宅介護を守り、一人ひとりに寄り添いながら手厚い介護ができる小規模事業所は絶対に必要です。利用者の権利が守られたよりよい介護保険のために、現場の声を国・厚生労働省、そしてそれぞれの自治体にも届けていかなければならないと改めて痛感しています。

ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合
守屋 哲

< 要望項目 >

1. 介護保険基本報酬の引き上げについて
2. 介護認定に関わる2016-2020年の経年調査から
3. ケアプランの有料化について
4. 「見守りの援助」での入浴はありえない!
必要だから利用されているディサービスの入浴加算
引き下げは見直しを
5. 2020年度介護保険制度の改定2項目を検討してください。
(1) 区分支給限度額7割の内訪問介護6割のケアプランの抽出
(2) 大規模通所、通所リハビリテーションの報酬の扱いについて
6. 介護保険事業のICT化推進のためにも、小規模事業所へのさらなる支援の充実を
7. 通院介助の現場で起こっている不合理をそのままにしないでください

要望に対する厚生労働省の回答は、院内集会を記録した動画をご覧ください。



厚生労働大臣宛てに「介護の社会化と在宅介護を後退させないための要望書」を手渡しました

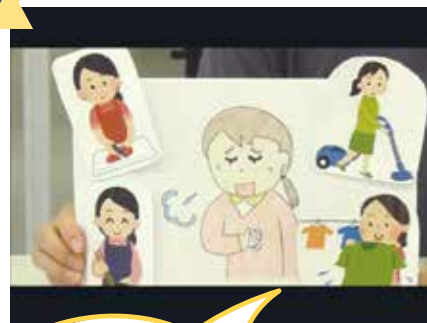


アビリティ共済の紙芝居、動画など見ながら お茶会をしませんか？

みんなの
アビリティ共済！
その 10



紙芝居



お茶会で 70 才からでも加入できるお手頃な
保険（ほすぴたプラン）を紹介してもらい、加
入しました。

ACTの「いきいきサークル」を話題に、楽しい
ひとときでした。

＊アビリティ共済加入者による配当金寄付は、いき
いきサークルの活動費補助にも生かされています

「共済の紙芝居を見て、“ワーカーズ・ケア”
付きで安心だな」と思って加入しました。

動画

こちらからご覧になれます！



共済動画配信中

- アビリティ共済の募集人がお伺いして、
分かりやすく説明します。
- 茶菓代 1 人 300 円の補助があります！

【補助の条件】

- ・リアル開催で 10 人位まで
- ・説明の時間は 30 分程度

事前に共済事務局までご連絡ください。 TEL 03-5302-0391



第 3 回 教えて！介護のコツ



「車いすを使った移動」 その 1

車いすは移動能力が低下した人にとっての移動
手段です。車いすが使えることで生活範囲が広が
り社会参加も可能になります。車いすの種類には
介助用、自走用、電動仕様等があります。

●車いすの広げ方

車いすのハンドルを握り少し開いておきます。前
に回り両手でハの字をつくり座面に置き、体重を
乗せて押し広げます。

●車いすのたたみ方

車いすの横に立ち座面の中央の両端を持ち引き上
げます。

毎回、使用前にはタイヤの空気圧、ブレーキの
効きを確認し、その人に合った座位保持のための
クッション等を用意します。詳しくは、QR コード
の動画でご覧になれます。

ACT 在宅介護研究会



介護の悩みやご相談はこちらまでご連絡ください。
(秘密厳守)

ACT 事務局 TEL 03-5302-0393

たすけあいワーカーズあやとり25周年

夢は介護と育児が 一緒にできる場所

ACTが30周年を迎えるにあたり、ACTと共に25周年を迎えた板橋区にある「たすけあいワーカーズあやとり」の活動の様子を前代表の今澤てる子さんと、現代表の守屋哲さんからお聞きしました。



今澤てる子さん



守屋哲さん



生活クラブ保育園「ぼむ」との節分交流会。
あやとりの隣にあり、様々な交流をしています

一人の困りごとをみんなで事業に！！

あやとりは1996年に、板橋区の14名の有志が立ち上げました。きっかけは仲間の一人が抱えていた介護の経験から、ACTの「自立援助サービス」をやろうと声があがったそうです。

最初は生活クラブ板橋センター（前野町）の一部を借りてスタートしました。

2000年に介護保険制度ができ、介護保険事業に参入するためNPO法人格を取得しました。2001年にはデイサービスを開設。在宅介護には

デイサービスが必要、という思いからできたものです。続いて、2003年には子育て支援事業「おやこ舎」を、板橋区の助成金「空き店舗対策」（3年間の助成）を活用して設立しました。子どもを預けて働きたいという若いママの思いをかなえるためや在宅育児をしているママたちが自分時間を作ったり、息抜きをしたり、時間制で自由に利用できるサービスが必要でした。2012年からは区の定期保育事業にも参画し、地域の子育て中の親を支える事業になっています。

あやとりの歩みをお聞きしながら、誰かが感じた不便さや困ったことをみんなで受け止め考えて、それを新しい事業にしてきたということを感じました。まさしくこれがワーカーズ・コレクティブという働き方だと思いました。

2011年に板橋徳丸に生活クラブ館徳丸（複合施設）が完成、あやとりも参加を決め、拠点を板橋徳丸に移しました。おやこ舎はそのまま元の前野町で事業を継続しています。



デスタッフによるクリスマス会。利用者さんと一緒にクリスマスソングや、懐かしの歌を歌います



デイサービスの送迎車



くじらハウス全景。
おしゃれな洋館です

まず先に人のことを考える

今、あやとりでは新しい試みをスタートしています。以前から独自事業としてケア者を派遣し、お付き合いのあった「地球村」(障がいのあるお子さんを持つ親御さんが中心となって活動している団体)の方から「ぜひ地域のために使ってください」と一軒家の提供があり、「くじらハウス」をスタートしました。現在は前からあった「玄米サークル」の活動の場となっていますが、これからどんな風に「くじらハウス」が成長していくのか楽しみです。主にケアの中心から卒業したメンバーが運営にたずさわっています。

あやとりの現在の代表、守屋さんに「25年継続できた秘訣はなんですか?」とお聞きしてみました。守屋さんは迷わず「まず先に人のことを考えるメンバーが集まったこと。」あやとりはそういう人の塊だそうです。なんと力強い言葉でしょう。たすけあいワーカーズそのものをずばり言い当てた言葉だと胸が熱くなりました。これまでのあやとりの誠実であたたかい活動そのままに、継続してほしいと思います。

守屋さんは「若い人が入ってくれることが一番大事だ」と言います。あやとりは訪問介護にデイサー

ビス、子育てと事業が多いワーカーズです。メンバーもいろいろな事業を兼務して働く人が多いそうです。そうすることで若い人も多様な体験ができ、ある程度の収入も確保できます。あやとりとしても少ないメンバーでも、事業を協力しながら続けていけるのでしょう。

2021年度より板橋区からの新規委託事業「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」事業にも参画しました。これもまた、地域に必要なものをつくってきたあやとりだからできることだと思います。

将来の夢は介護と育児が一緒にできる場所をつくりたいそうです。これから30周年、35周年とあやとりらしい活動が継続していけるようにACTにできることは何かを考えながら、一緒に歩んでいきたいと思っています。



2017年より始めた玄米正食サークル。
くじらハウスで開催しています

◎連絡先

NPO法人 ACT 板橋たすけあいワーカーズあやとり

〒175-0083

東京都板橋区徳丸2-30-16 生活クラブ館徳丸2階

TEL 03-5922-3560

E-mail actayatori@oak.ocn.ne.jp

ACTと共に25~30周年を迎えるたすけあいワーカーズ

ふろしき(練馬区)

ゆりの木(世田谷区)

町田(町田市)

ぼけっと(東村山市)

ひよこ(北区)

ハミング(西東京市)

なかよし(狛江市)

ほっとわあく(小金井市)

つむぎ(多摩市)

こもれび(三鷹市)

すてっき(国立市)

エプロン(練馬区)

あくしゅ(東大和市)

大きなかぶ(昭島市)

もも(江戸川区)

さざんか(杉並区)

ぽ♥ぽ(府中市)

..... 地域に根付いて活動をしています。ありがとうございます。

理事会だより



ACT通信と一緒に、 ACT会員証をお届けします！

理事会では、ACT会員証の発行を検討しています。7月下旬発行のACT通信187号に同封し、会員の皆さんにお届けします。

ACTがつくる初めての会員証です。会員の皆さんに会員特典をわかりやすくお知らせし、もっとACTを活用していただきたいという思いでつくりました。裏にはみなさんが使える特典の数々が載っています。例えば、「困ったときのACT会員同士のたすけあい『ACTつながるケア』が使えます」とか、「ACT主催の研修・講座が無料で受講できます(一部除外あり)」とか、「まちの縁がわで一日一杯、コーヒーが無料になります」などなど…。会員の皆さんが必要な特典を必要な時に使うための会員証です。

お財布の中に入れて、いつでも思い出したら使ってください。期限はありません。ACT会員でいる間はいつまでも使えます。会員のみなさんとACTを繋ぐ新しいお守りとして、お役に立てていただけたらうれしいです。

コロナ禍による事業継続のご支援に 心より感謝申し上げます

まちの縁がわ12団体に、会員の皆様からの緊急支援寄付をもとに総額72万円の助成を行なうことができました。また生活クラブ生協・東京より、まちの縁がわ11団体へ134万円、たすけあいワーカーズ4団体へ43万円の助成をいただきました。ご報告とともに、心より厚く御礼申し上げます。ACTはこれからも一人ひとりの思いをつなげ、たすけあう地域づくりを行なっていきます。



理事紹介

さとう えいこ
佐藤 英子

ACT・人とまちづくり
2021年就任



ACT・人とまちづくりでケアマネジャーとして活動し、同僚とのコミュニケーションは家族より良好かと思う中、ご近所との交流も大事と、夫の地域デビューも兼ね二人で近所のバドミントンサークルに。また職場の人達とピラティス教室にも。ダイエットも目論みつつプライベート充実です。

昨今は分散勤務やオンライン会議で「久しぶり」と職場で挨拶する事も。対面し交流する時間を大切に思う日々です。

あいかわ なみ
相川 名美

ACT事務局
2019年就任



ACTとのご縁は青梅・生活者ネットワークの代理人になった頃からで、当時青梅にあったたすけあいワーカーズ「のぞみ」の活動に賛同する想いからでした。会費を納めるだけの会員でしたが12年の歳月が流れ、1年ほどACT理事を務め、別の団体に入職。4年前に職員としてACTに戻ってきました。

今年、ACTは設立30年を迎えます。会員による事業活動が、福祉のまちづくりをリードしてきたことを実感します。

これからも、会員の事業活動をしっかり支えていきたいと思っています。

ゆるやかに、楽しくつながっています！

世田谷にも地域ACTを作ろうと2020年2月に準備会を立上げ、コロナ禍ではありながら認知症の相談会やお散歩会を企画することでメンバーが集まり、2021年2月に設立総会を開催することができました。

何よりも“楽しく”をモットーに、毎月第3木曜日に定例会を開催しています。定例会に合わせて



親子サロン・すこっぴの活動場所です定例会をやっています

あんしんすこやかセンターの協力で
学習会を開催しました

開催した介護のお話会は、いきいきサークルとして活動が広がっています。地域のあんしんすこやかセンターの協力を得て開催した「認知症にまつわる学習会」では、「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を学ぶよい機会になりました。



市民版地域福祉計画をすすめる生活クラブ運動グループ世田谷地域協議会と連携して、安心して住み続けられるまちになっていくには、人と人、団体と団体がゆるやかに楽しくネットワークでつながっていくことが大事と感じて活動しています。

世田谷ACT代表 岡田 佳子

連載 コラム

社会保障を考える (4) 社会保障と経済成長



ACT理事 かど よく 能

島根県立大学 地域政策学部地域政策学科 地域公共コース准教授

今回は社会保障と経済成長との関係について考えてみたいと思います。

両者の関係は論争が続いているテーマです。最近では、社会保障の充実が経済成長につながるという意見も散見されます。しかし今思い起こすべきは、何のための社会保障制度なのかという視点です。社会保障制度は、ひとびとの生活を普遍的に保障するために存在しているのであって、経済成長のための手段として存在しているわけではありません。また社会保障が充実しても経済成長につながらない可能性からも目を背けるべきではありません。

一方で社会保障の財源調達のために経済成長の方法も検討すべきです。ここで提案したいのが、経済成長を追求する領域と経済成長とは異なる目的で運営すべき領域を分けること、そして前者により後者の必要をカバーしていくという考え方です。

経済成長のための政策を考えつつ、同時に何のための社会保障なのかという当たり前の視点を忘れずにいたいものです。



子育て支援フォーラムに参加して



フォーラムは、会場とZoomで行なわれました

1月8日、新しい年が明けて間もないこの日、生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合の子育て支援フォーラム 2021 が開催されました。

江戸川区に一昨年に出来た児童相談所（ハートポート）の援助課長 上坂かおりさんの講演につづき、3 ワーカーズから現場の事例を交えた活動報告、その後参加者のグループ討議と盛り沢山。質問コーナーでは、上坂さんに丁寧に答え頂き、児童相談所の現状や課題を知る機会になりました。

また、現場を知る私たちワーカーズは、気付きを伝える使命があり、参加した皆さんは、仲間の言葉で知らなかった暮らしや地域の課題がみえてくる。市民として、私たちは子どもたちの権利や幸せのために何が出来るのかを考え続けたい時間でもありました。

江戸川たすけあいワーカーズも 仁ノ平 洋子



* ACT インフォメーション *

第24回総会のお知らせ

5月28日(土)14:30～16:30
12:30～公開講座を予定しています。
武蔵野スイングホール(武蔵境駅より徒歩2分)
レインボーサロン

皆様のご協力とご寄付に御礼申し上げます

ACTコミュニティ活動応援基金
まちの縁がわ緊急特別支援寄付
..... 107件 460,000円 (3月末現在)

編集後記

去年の春に、食べ終わったアボカドの種を植えると綺麗な観葉植物になると聞いて挑戦してみました。大切に育てて大きくなりましたが、大切にしすぎて肥料をあげすぎ、一日で枯れてしまいました。

とてもとても悲しかったのですが、今年の春もまた懲りずに再挑戦しようと思います。

(しょ)

住所、連絡先等変更されたときはACT事務局までお知らせください。

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

〒164-0012
東京都中野区本町2-51-10 OKビル4F
☎03-5302-0393 FAX 03-5302-0394
E-mail : tokyoact@maple.ocn.ne.jp <https://npooact.org/>

ACT通信ではユニバーサルデザイン(UD)フォントを主に使用しています。

「ユニバーサルデザイン(UD)フォント」は、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう、ユニバーサルデザインの視点から見やすさや読みやすさを配慮・確認し制作されたフォントです。



「Facebookで
「いいね!」してね」

